

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	モジラ・アルク(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日		～	2025年 8月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22世帯	(回答者数)	21世帯
○従業者評価実施期間	2025年 7月 18日		～	2025年 7月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的かつ柔軟な職員体制	・子どもの発達段階に応じて活動プログラムを柔軟に組み立て、職員配置を工夫している	・個々の特性に応じた専門研修を継続し、職員全体のスキルアップを図る。 ・保護者に向けた、学びの時間や制度の仕組みについてお伝えできる時間をつくる。
2	計画的でチーム的な支援・情報共有	・毎朝の打合せやケース会議を通じて、日々の支援をチームで確認・共有している ・計画に沿った支援を徹底。	・振り返りの機会を体系化し、成功事例等の共有を強化する ・ICT(アプリ・クラウド記録等)を活用し、情報共有の効率化を図る
3	保護者との信頼関係と丁寧な情報発信	・定期的な通信やSNSで活動内容を発信 ・日頃からお迎え時に家庭での様子を確認し、事業所での様子を丁寧に伝えている。	・保護者とお話できる時間を計画的かつ柔軟に進めることで、情報キャッチを早い段階でできるようにする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の不足	・地域交流の機会は限られており、児童館利用はあるが他の子ども達との活動機会は乏しい	法人内他事業所との合同イベントを開催し、地域交流の機会を意図的に増やす。
2	保護者支援・交流の未整備	・定期的な会合や役割分担が伴う「保護者会」や「父母の会」は、時間的・心理的な負担が大きい。 ・保護者の多くは家庭や仕事で多忙であり、追加的な活動は参加しにくい。	・保護者交流の「小さな場づくり」(茶話会・テーマ別勉強会など)から段階的に始める。 ・保護者向け研修やペアトレを紹介・案内する
3	マニュアル周知の不十分さ	事故防止や感染症マニュアルは作成済みだが、保護者への周知が徹底されていない	事故時や感染症時の対応を、フローチャートで「誰が」「いつ」「どう動くか」を一目で分かるように工夫して作成する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス)

事業所名 モジラ・アルク

公表日 2025年 8月 28日

利用児童数 22世帯

回収数 22世帯

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				・とてもいい環境だと思う	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22				・子どもの色々な支援を考えてご指導いただき感謝している	スタッフそれぞれの強みを活かしながら支援しています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21			1	・中学校以降の支援について、詳しく知りたい	・今後のサービスの種類等についての説明時間を保護者向けに計画しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4		7	・利用日と重なっていない為参加できていない。 ・他事業所と児童館に行っている	児童館や公園などの利用はしているが、他の子ども達との交流はできていない。法人内の事業所間での交流から取り組みたい
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	2		4	・研修会の情報提供があり、参加し、知識を得て親の心が成長した。 ・家族参加もあるが、個別のペアトレもあると良い	本格的なペアトレについては、対応できるスタッフがいないが、関わり方や捉え方などについては今後も個別に面談等を含めながら対応していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21			1	・子どものことを良く分かっており向き合ってもらえている	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2			助言等によりアドバイスが的確。大変嬉しく思っている	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			1	楽しく事業所に通っており、子どもを見るとスタッフから共感されていることが伝わる。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	6	1	6	保護者会などはないが、お迎えの際に会った方とは話ができる	保護者会の発足については、今後も考えてはいないが、ご家族同士が語り合える時間を作っていけるよう計画していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		2	・きちんと対応されている。 ・相談や説明は十分に対応していただいている。関係機関がない時が多い。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1			・アップされる子どもに偏りがあるように感じられることがある。 ・SNSは子どもも楽しみにしている。話をしてくれる。	・アップできる事に承諾を得ている方に限定してアップさせて頂いているが、偏りがないように気を付けて対応していきたい
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		3	支援計画に盛り込まれていると認識している	マニュアルの周知について、工夫し、対応していきたい
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22				・利用日に訓練が設定されておらず、経験としては少ない。	できるだけ多くの子ども達が体験できるように日程の工夫を行いたい
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	2			・楽しみに通所している	子ども達にとって、楽しみの場所でもあり、必要な時間になるように今後も子ども達と一緒に作戦会議しながら充実を図りたい
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	2	1	1	・毎回通所を楽しみにしている。 ・足が重い時はあるが、帰るときは軽い足取り。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	2			・他の事業所の時よりは満足している ・スタッフから助けられ、伸びしろを考えていただいている。	

公表

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名		モジラ・アルク					公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8							
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1	子ども達の発達段階に合わせて活動プログラムを組み、職員数も工夫しながら配置している					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		・開放的な環境のため、注意散漫になることもある				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	清掃は毎日行い、清潔保持に気を付けている。	個室はないが、間仕切りや穴倉など環境を上手に活用しながら支援を行っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		・相談室が面談で使われることが多い。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8							
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・職員会議が定期的に行われている					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・必要な研修が計画的にされている					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・毎月お便りを出している					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1		・定期的な面談ができていない				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8							
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		・具体的な数値としての評価は不十分				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・担当を決めて月案で提案している					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・5領域を踏まえて活動計画を立案し、子ども達が楽しみながら経験を重ねられるようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎朝、朝礼にて1日の流れの確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	児発と放デイの合間に支援の確認や、ケース会議等を行い情報共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		毎日、記録の実施ができています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管が中心となって参加しているが、検討内容によっては支援者も同席することがある	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		・できるケースと難しいケースがある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1		・できるケースと難しいケースがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		情報共有できないこともある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		利用児の様子等をまとめて書面にてお伝えしている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		センターの存在はわかっているが、直接支援について相談することはほとんどない。制度の仕組み等についてお尋ねすることはある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		児童館の資源は活用できているが、子ども達との交流はできていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		8		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		ご家族がお迎えに来られた際に、事業所での様子をお伝えしたり、ご家庭での様子を確認するようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		外部研修についてもう少し積極的にご家族への案内があってもいいのではないかな？
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2		保護者会の発足はされていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			・現在、保護者にのみ同意を得ているが、高学年には本人の同意も必要ではないか。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	見学の受け入れは、柔軟に対応している。	事業所内の行事については、招待等を行っていないが、今後検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3		マニュアルの作成はできているが、ご家族への周知はできていない為、伝え方を検討していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	避難訓練(火災、地震、不審者、水難など)は毎月行っている	BCPに沿った細かい訓練は不十分なため、計画的に実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			予防接種の確認までは行っていない
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		周知が不十分である。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	年に1回、虐待防止研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	契約時にお伝えしている	契約時の内容がスタッフ全員に周知できていないことが分かったので、ミーティング等で周知していく